

令和元年7月～9月期  
地域産業経営動向調査  
〔報告書〕

堺 市

〔 調査実施機関  
堺商工会議所 〕

## 調査の概要

1. 調査目的 堺市管内事業所の経営動向の実態を四半期毎（3月期・6月期・9月期・12月期）に調査し、業況判断指数D I 値等により景気動向を把握する。
2. 調査対象 堺商工会議所会員事業所800社（建設業200社・製造業200社・卸売業100社・小売業100社・サービス業200社）
3. 調査期間 令和元年9月11日（水）～9月30日（月）

4. 回収率	調査対象数	回収数	回収率
建設業	200社	100社	50.0%
製造業	200社	104社	52.0%
卸売業	100社	50社	50.0%
小売業	100社	50社	50.0%
サービス業	200社	100社	50.0%
全産業	800社	404社	50.5%

### 【主要な表現について】

- 業況判断 … 調査対象企業が自らの業績に下した判断。
- D I 値 … 「好転」したとする企業割合から「悪化」したとする企業割合を差し引いた値。

### 【各項目別のD I 値の意味について】

- 業況判断 … D I 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- 売上高 … D I 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- 採算 … D I 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。  
⇒今期状況 … D I 値がプラスなら「黒字基調」を、マイナスなら「赤字基調」を表す。
- 資金繰り … D I 値がプラスなら「容易」を、マイナスなら「困難」を表す。
- 雇用人員 … D I 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。  
⇒今期状況 … D I 値がプラスなら「不足」を、マイナスなら「過剰」を表す。

## 調査結果の概観

今期(7月～9月期)の前年同期比を見ると、資金繰り、雇用人員はやや悪化、業況判断、売上高及び採算は悪化となった。

来期(10月～12月期)の予測については、業況判断、雇用人員は横ばい、資金繰りは悪化、売上高、採算は2期連続で悪化となり、引き続き市内中小企業の動向については、注視していく必要がある。

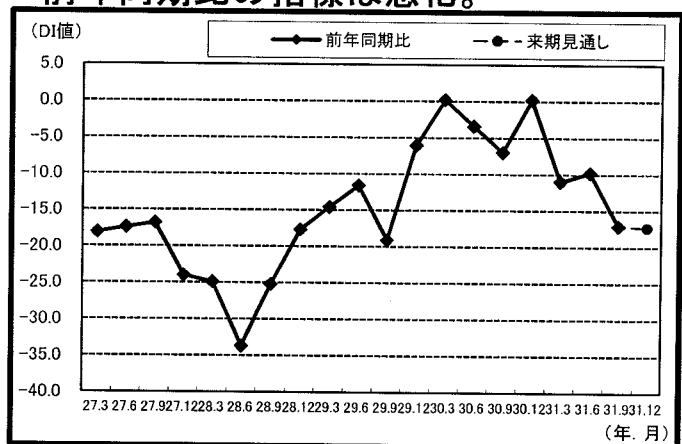
### 1. 業況判断の動向

・前年同期比の指標は悪化  
( $\Delta 9.8 \Rightarrow \Delta 17.1$ )

・来期見通しの指標は横ばい  
( $\Delta 17.1 \Rightarrow \Delta 17.3$ )

・業種別に前年同期比の指標を見ると、サービス業は横ばい、製造業、卸売業及び小売業は悪化、建設業は2期連続で悪化。

#### ・前年同期比の指標は悪化。



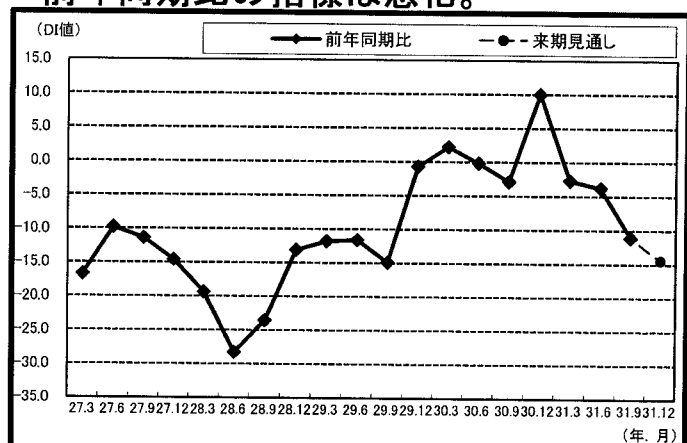
### 2. 売上高の動向

・前年同期比の指標は悪化  
( $\Delta 3.8 \Rightarrow \Delta 9.4$ )

・来期見通しの指標は2期連続で悪化と予測。  
( $\Delta 9.4 \Rightarrow \Delta 14.4$ )

・業種別に前年同期比の指標を見ると、サービス業は改善、建設業はやや改善、卸売業は横ばい、製造業、小売業は悪化。

#### ・前年同期比の指標は悪化。



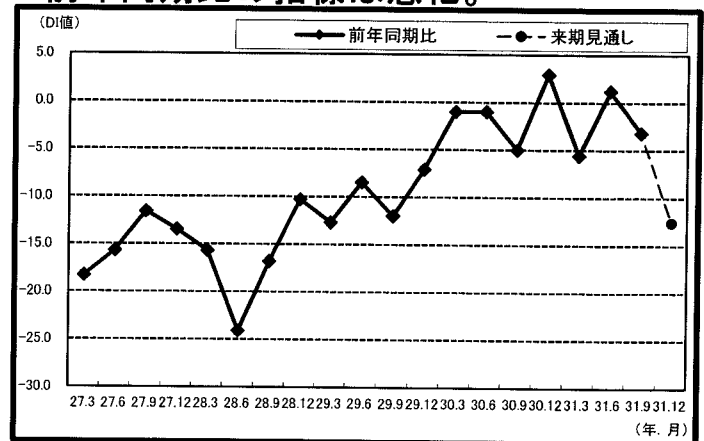
### 3. 採算の動向

・前年同期比の指標は悪化  
(1.2⇒△3.2)

・来期見通しの指標は2期連続で悪化と予測  
(△3.2⇒△12.6)。

・業種別に前年同期比の指標を見ると、卸売業、サービス業は2期連続で改善、建設業、製造業及び小売業は悪化。

#### ・前年同期比の指標は悪化。



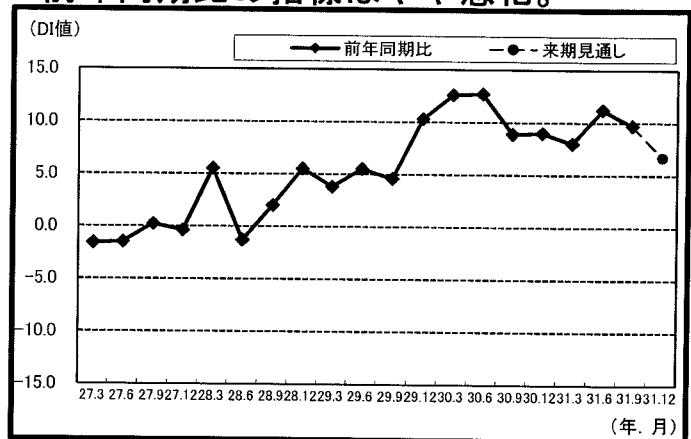
### 4. 資金繰りの動向

・前年同期比の指標はやや悪化  
(11.2⇒9.7)。

・来期見通しの指標は悪化と予測 (9.7⇒6.7)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、卸売業はやや改善、建設業、サービス業は横ばい、小売業はやや悪化、製造業は悪化。

#### ・前年同期比の指標はやや悪化。



### 5. 雇用人員の動向

・前年同期比の指標はやや悪化  
(3.8⇒1.0)

・来期見通しの指標は横ばいと予測  
(1.0⇒1.0)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、サービス業は改善、小売業は横ばい、建設業、製造業及び卸売業は悪化。

#### ・前年同期比の指標はやや悪化。

